


「私が、会社を継ぎます。」～切削プロ集団を率いる2代目の決意と挑戦～



父親が46年前に創業した機械部品加工業を、大学卒業後のOLを経て、平成2年に電話番をするような感覚で手伝いを始めました。その頃は、家業を継ぐ気は全くありませんでした。その後、同業者の後継者の集まりに参加する中で自然と「跡を継ぐ」意識が生まれ、父に「私が会社を継ぎます。」と宣言し、平成22年に代表取締役になりました。

それからは、父が創業した切削プロ集団である町工場を会社組織に改革することに明け暮れました。手始めに従業員の意識改革や職場環境の整備を行いました。職人気質の古参の従業員とはことごとくぶつかり合いましたが、現場担当になった父は黙って見守ってくれました。また心が折れそうになった時は、同業者の先輩女性経営者からの「あなたにはあなたのやり方がある。絶対、大丈夫だから」の一言が私を支えてくれました。

創業以来部品加工を手がけてきましたが、現在では材料調達から仕上げまでの一貫生産体制で医療機器開発や精密部品切削加工に取り組んで

います。公私ともにパートナーである部長が先頭に立ち、ISO9001認証取得(H25)や神奈川県に営業所開設(H26)と、新たな挑戦も二人三脚で頑張っています。

また、「全日本製造業コマ大戦」にもチャレンジしています。日本の製造業の高い技術力を喧嘩コマを通じて競うこの大会で、平成26年にG2で3位入賞、平成27年には世界大会にも出場しました。更に、切削技術を磨き優勝を目指そうと従業員一同意気込んでいます。

父が現場で頑張っているうちに事業承継できたことで、取引先や金融機関等からも好印象を持ってもらい応援してもらえたことも心強い支えになりました。これから事業承継を向かえる後継者には、自ら「跡継ぎ」を宣言し「覚悟」を決めることが大切だと思います。やらされている感や言うなり等の甘えはなく全てが自分の責任になるため、前のめりで仕事に打ち込めるはず。1日も早く自ら宣言した方が良い結果を生むはず。